

# 石狩湾系ニシンの漁況予報

北海道立総合研究機構 中央・稚内水産試験場

平成30年12月6日

石狩湾系ニシンの今漁期（平成31年1～3月）における漁況は、次のようになる見通しです。

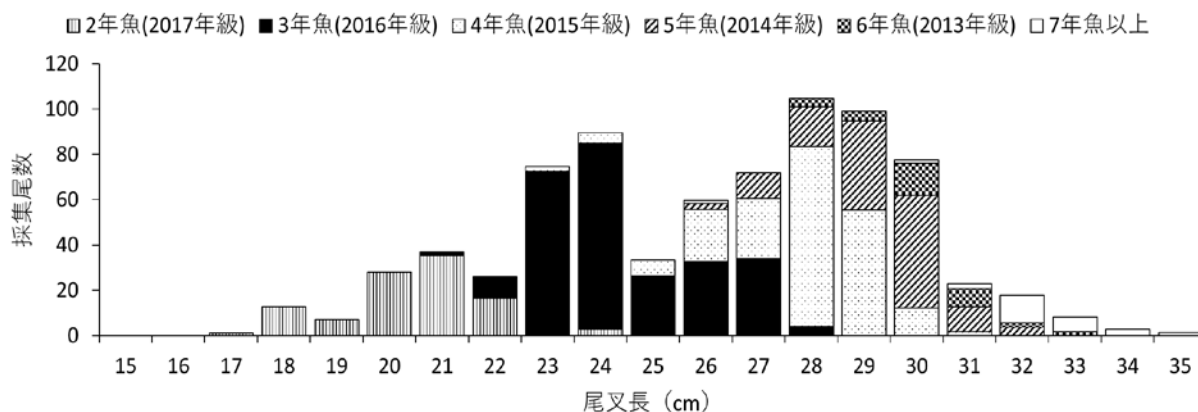
- 漁期序盤（1月）に来遊する大型・高齢群のうち6年魚以上は少ないが、5年魚（2014年級）が多いと考えられることから、来遊量は前年並みの見通しです。ただし、この時期の漁況は直近の海況に大きく影響されます。
- 漁期中盤（2月）は、5年魚（2014年級）と4年魚（2015年級）主体となるが、4年魚の豊度が低いと考えられることから、来遊量は前年を下回る見通しです。
- 漁期終盤（3月）に来遊する3年魚（2016年級）は豊度の高い年級と考えられ、来遊量は前年を上回る見通しです。

後志以北日本海沿岸に来遊する産卵群の全体動向の予報であり、海域により来遊傾向は大きく異なります。

本年10月に留萌沖海域で実施した試験調査船「北洋丸」によるトロール調査の採集物は、尾叉長30cmにモードのある5年魚（2014年級）が17%、尾叉長28cmにモードのある4年魚（2015年級）が27%、尾叉長24cmにモードのある3年魚（2016年級）が34%を占めました（下図）。このトロール調査で採集された年齢別尾叉長組成のうち約25cm以上の組成は、その数ヶ月後の沿岸における刺し網の漁獲物組成ときわめて似ていることから、この結果を用いて今漁期の漁況を予想しました。

調査における採集状況から推定される今漁期の漁獲物を構成する各年齢の豊度は以下の通りです。6年魚以上の割合は全体の5%程度と例年よりも低かったことから、前年よりも少ないと見込まれます。5年魚は、石狩湾系群として過去最高の漁獲量となった昨年度の主体となった2014年級であり豊度が高いと考えられることから、前年よりも多く今年度も引き続き漁獲物の主体と考えられます。4年魚は、稚魚調査や過去のトロール調査における採集量が少なかったことに加えて、今年度のトロール調査においても、高い割合ではなかったことから、前年の2014年級ほどの豊度ではないと考えられ、前年よりも少ないと見込まれます。3年魚は、今年度のトロール調査において高い割合で採集されていることから豊度の高い年級と考えられ、前年よりも多いと見込まれます。例年漁獲の主体となる4年魚以上の資源重量としては、前年よりも少なくなるものの、2009年度以降の高い水準の範囲にあると推定されます。

図 本年10月に留萌沖のトロール調査（北洋丸実施）で採集されたニシンの年齢別尾叉長組成



お問い合わせ：中央水試資源管理部（☎0135-23-8707）